

和歌山東南国際ロータリー第2640地区 ロータリークラブ

2004~2005 会長: 中村美之 / 副会長: 八塚啓司 / 幹事: 神谷尚孝 / SAA: 郷間博敏
 〒640-8227 和歌山市西汀丁26 経済センター7階 TEL.073-423-3666 FAX.073-423-7200
 E-mail: a-rotary@coral.cypress.ne.jp http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary/rotary.html
 例会日時: 第1・2水曜日(18:30) / 第3・4・5水曜日(12:30) 例会場: 『華月殿』(和歌山市屋形町2-10)
 2004~2005年度RIテーマ ~ロータリーを祝おう~
 RI会長: グレン E. エステス シニア 2640地区ガバナー: 中島治一郎(泉大津RC)

2004~2005



週報

クラブ会報委員会
 委員長: 井畑順三 副委員長: 鯨 拓也
 委員: 竹中昭美 栗原 登

本週(12月1日通算1656回目 本年度20回目)の例会

クラブ総会・半期活動報告①各委員会

本日のソング 君が代・我等和歌山東南ロータリー

来週(12月8日18:30)の例会

半期活動報告②
各委員会

先週(11月24日通算1655回目 本年度19回目)の例会報告

郷間博敏SAA

出席報告 【会員数】 41名(内出席免除会員4名・名誉会員1名)

出席率をアップさせよう

◇前回(11月24日)25名(67.57%)◆メイクアップ後(11月10日)32名(86.49%)

出席委員長 駒阪純章

来訪者紹介

ビジター: 和歌山東RC: 寺下 浩彰 様

親睦委員 津川善昭

会長報告

中村美之会長

今日は、ビジターでいらっしゃいました、和歌山東ロータリークラブの寺下浩彰様ごゆっくりじて頂きたいと思ひます。

本日は何も報告はありません、IDMの発表がありますので100年の変遷は簡単に紹介します。

▼ロータリー年度「100年の変遷」

- ・1950年(昭和19年)52年前。占領終わる日劇ミュージック流血のメーデー事件。「木星号」が三原山に衝突。第15回ヘルシンキ五輪日本15年ぶり参加。韓国李承晩ライン設定。

- ・1951年(昭和18年)51年前。続く戦後処理。スターリン暴落真知子巻き。さいざんす。Dアイゼンハワー第34代大統領に。米でDANの二重ラセン構造発見。バカヤロー解散、吉田茂(第五次)。「上海帰りのリル」

▼今日は何の日

- ・1921年(大正10年)83年前。タバコの「光」発売される10本入りで10銭
- ・1943年(昭和18年)61年前。東京天文台が設置される。
- ・1994年(昭和19年)60年前。米軍機B29東京を初空襲。マキン島の日本守備隊が全滅する

幹事報告

神谷尚孝幹事

①和歌山県主催の「骨髄バンクドナー登録会」

12月4日(土)の案内が来ています。

回覧しますのでご覧下さい。

②本例会終了後、先週より延期になりました理事会を開催しますので、理事会メンバーはご参集下さい。

ニコニコ箱

奥村智子 会計

神谷君◆母レオノーラ神谷澄江逝去記念。皆様にお世話になりありがとうございました。

中村君◆竹中さん、先日はありがとうございました。

太田君◆本当は例会に出たいのですが、新型ポルポのエンジンの音を外国まで聞きに行きますので欠席します。

山口君◆本日はI.D.M.発表です。

竹中君◆駒阪さん、鯨さん、1000Kありがとう!

昨年IDMのA班◆昨年IDM A班の懇親会の残金です。

合計46,700円(累計886,995円)

米山記念奨学金

土屋一博 委員長

中板君♣鯨様、駒阪様1000kmお世話になりました。稲葉君♣IDM楽しかったです。釜中さん、お世話になりました。

奥村(智)君♣有本様、先日はお世話になりました。

井畑君♣土屋さん、松浦さん、差入れありがとうございました。

土屋君♣辻本先生、先日はありがとうございました。

本日IDMの発表をさせていただきます。

合計33,000円(累計412,000円)

ロータリー財団

松浦 薫 委員長

山口君♠楠本さん、太田さん、保田さん、上野さん先日はありがとうございました。

吉田君♠駒阪様、鯨様お世話かけました。

井畑君♠竹中さん、どうもありがとうございました。

合計18,000円(累計220,600円)

35周年記念BOX 釜中 甫干 委員長

保田君★3連休で体がなまっています。IDMでA班の皆様、ご協力有難うございました。

西田君★釜中社長、お世話になりました。

合計15,000円(累計336,000円)

A班 《発表者》リーダー:保田 博/日時:11月19日(金)/参加人数7名

一言(各人一言)

- ①深く難しく考えるのではなく楽しい、「楽しい」心で毎日の仕事を遂行する事が原点だと思います。
- ②その職業(会社など)が社会に認められているならば、適正な利潤が得られているはずである。利益は職業奉仕の一つのバロメーターである。
- ③職業奉仕の最終結果は適正な利益が証明してくれると思う。
- ④私ににあたえられた仕事を成し遂げる事と思います。
- ⑤今している職業が最高のものであると自信を持って行うこ

とが大切。奉仕、奉仕ということがはたして正しいのだろうか?何気なく毎日の仕事はたせればそれで充分だと思います。

- ⑥情けは人の為ならず、積善の余慶は子に孫に現れる。頑張っ
- て奉仕しましょう。
- ⑦職業は色々多様にありますが、ハートで考えなければ客の欲しいと思うものが発見できない。ハートで客が欲しいものを作り、ハートで社員に接し、ハートで社会に貢献する。ハートで責任と義務を遂行することが大切だと思います。

B班 《発表者》リーダー:近江清次/日時:11月16日(火)/場所:「わかば」/参加人数6名

○当班にはロータリーのご理解の深い先輩お三方があられ「職業奉仕」というピンとこない難解な議題に対してリーダーとして楽観して議事に入れた。只そのうちのお一人は他の会と重なり出席されなかったのは少し残念であった。しかし現役バリバリの専門職をもつ他のメンバーの議論も加わり、リーダー以下適量以上のアルコールの助けを借りて又ロータリーに関する話題のみならず世全般と世間の風評なども吸収でき有意義な会議であった。

○先ず職業奉仕はロータリー活動の基本であるということは常に言われているが「金さえあれば何でもできる」ではなく、ロータリー精神にのっかって「適正な商売を行うことによって得られる利益」を如何に確保するかが本命である。

○ここで四つのテストを本当に実行しているかどうか、厳密

に解釈した場合にはいわゆる「適正な利益」も得られないのではない。利益を得ない職業はロータリーに対しても「悪」ではないが、等々の意見も出た。

○人は何のために働くか「金儲けのため」ではなく「喜び」を得るためであり、ロータリーによる喜びはサービスでなくて天職に関するサービスであるということ、神の手による天職によるものだと考える。

○天職での奉仕は社会やロータリークラブのためだけではなく、天下の仕事をやりとげることによって皆さん税金をしっかりと払うようにしましょう。

以上のようなご意見、議論のうちにアルコールは益々リーダーの体と心にしみわたり帰るに当って角谷先輩の靴を履き違えて帰宅した次第です。

C班 《発表者》山口幸也/日時:11月13日(土)/場所:「日本料理 四季彩」/参加人数5名

- ①四つのテストを実践することが基本理念である。
- ②例会終了後、もっとアットホームな時間を持ってないか。(前は、土曜日だったのでよくやった。)

- ③各会員の職業内容(実際に行っている業務の詳細内容)を皆さんに知ってもらうことによってもっと多くの出会い等のきっかけができるのではないか。

D班 《発表者》リーダー:有本隆行/日時:11月15日(月)/場所:「吉花」/参加人数7名

職業奉仕とはロータリアンとして活躍している者は全て職業人であり、事業を営んで利潤を得る時も、専門技術によって謝礼を受ける時も、それが全ての人の幸せに繋がっているかどうか。

会員同士の取引きで特別にサービスすることはあってもそれを強要してはいけない。

ロータリーがロータリアンの職業を利用した時は正当な評価をしてほしい。

等々沢山あるのですが「四つのテスト」に則って職業活動をする、と言うのが結論でした。

その後二次会で、他の班のIDMの下見をしているメンバーと出会う、夜遅くまで楽しく過ごしました。

E班 《発表者》サブリーダー:土屋一博/日時:11月19日(金)/場所:「一条」/参加人数7名

今回の議題「職業奉仕について」は様々な意見が出、又活発な討論が出来たと思います。

要約すれば

- ①アフターサービスである。
- ②適正価格で販売すること、又適正な給与を支払い続けることである。
- ③真実を語ることである。
- ④同業者は競争者ではないと考えること
- ⑤下積の立場配慮すること
- ⑥金銭の受け渡しを配慮すること
- ⑦究極はプロスポーツであると考えたと社会に対する影響もわかり易い職業を通じて社会奉仕をすることであるなどがありました。

目からの人生感と重複し、座右の銘といえますか、哲学的に入る程さまざまな内容が聞け、皆様の職業論や職業倫理の真理にふれられる充実した時間でした。怠惰な時間をおさぼり、またきびしい現況になり目標・目的を失ったとき、おちいりがないことが今申し上げた内容の正反対であることは言うまでもありません。

私々が職業をまっとうする、つづけていく、つづけていける為には職業を通じて社会奉仕をしている自覚と意識、自分を含めた給与をもちたすことの幸せ、又感謝の心。それが揺るぎない根幹であり、答えであるのではないかと結んでおきます。

又同時に「四つのテスト」を思い浮かんだ私でした。その後辻本班長と「四つのテスト」ではなく「四つのハシゴ」をしたことはいまでもありません。ありがとうございました。

総評

各班長さんには、ご苦労様でした。

今期のテーマとして「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」についてIDMの議題としたいと活動計画に発表いたしました。前回は「クラブ奉仕」特に出席の重要性の再認識をされたかなとも思います。

今回のテーマは「社会奉仕」です。前田会員の先日の卓話「職業奉仕月間によせて」1905年、当初のロータリーはポール・ハリスが3人の異なる職業人に呼びかけてスタートし、始めは助け合いと親睦を強調しましたが、次第に自己の職業を通じて社会に貢献することを目指すようになりました。とあります。今、まさにその様な時代の様です。

職業が社会に認められる・自分の仕事を成し遂げる・4つの

ロータリー情報・規定委員長 山口幸也

テストに照らす・アフターサービス・同業者は競争相手でない・職業を通じて社会に奉仕するなどのご意見に加え、今回各班にほぼ共通して言われていることに「適正利潤(価格)」ということばが出て来ておりましたのも今回のIDMの特徴でもあったように思います。

非常に重要且つ会員たるもの認識していなければならないものでありながら、捕まえどころのない議論しづらいテーマではございましたが、今回のIDMという機会を持ちまして、入会よりまだ日の浅い会員方々・又ベテランの会員方々も再認識されたことと思います。

次回のIDMのテーマは「社会奉仕」です。

有難うございました。